

科目区分	専門分野 I	科目名	診療補助技術	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15H)	学 期	第2学期
担当講師	高崎 麗華(臨床経験23年、教育経験12年)				
科目目標	1. 診療に必要な基本的な技術を習得する。				
授業概要	<p>第1回 診察の基礎的知識・検査時の基礎的知識 1. 診療における検査の位置づけ 2. 検査の目的と種類 3. 検査が患者に及ぼす影響 4. 診察・検査における看護師の役割</p> <p>第2回 検査を受ける患者の看護 1. 検体検査時の看護 1) 尿検査 2) 便検査 3) 喀痰検査 2. 生体検査時の看護 1) 心電図検査 2) X線検査 (1)X線の性質 (2)X線検査の種類 (3)造影剤の副作用と対策 (4)被曝の軽減 3) 消化管造影検査 4) CT検査 5) MRI検査 6) 内視鏡検査 7) 超音波検査 3. 穿刺時における看護 1) 胸腔穿刺 2) 腹腔穿刺 3) 腰椎穿刺 4) 骨髄穿刺</p> <p>第3回 医療機器を必要とする患者の看護 1. 医療機器とは 2. 医療機器の安全な使用(日常点検とトラブル防止) 1) 医療機器使用に伴う事故とその対策(感電・安全な電源の取り方) 2) 安全管理 3. 医療機器を必要とする患者の看護 4. 診断・観察に用いる医療機器 5. 治療に用いる医療機器</p> <p>第4回 創傷管理と包帯法(講義・演習) 1. 皮膚の構造と機能 2. 創傷の種類と治癒過程 1) 再生治癒と瘢痕治癒 2) 汚染創と感染創 3) 創傷治癒形態 4) 創傷治癒過程 3. 創傷処置 1) 創洗浄と創保護 (1) 創洗浄の方法と注意点(2) テープ固定法(3) ドレッシング剤の選択(4) 包帯法(演習)</p> <p>第5回 静脈血採血を受ける患者の看護 1. 血液検査の目的と種類 2. 採血部位の選択 3. 採血の方法と注意点 4. 採血に伴う合併症と対応 5. 針刺し事故の予防と対処</p> <p>第6回 静脈血採血①(演習) 第7回 静脈血採血②(演習) 第8回 終了試験:1H</p>				
看護師国家試験出題基準	診察・検査時の看護師の役割、検体検査(血液、尿、便、喀痰、胸水、腹水、骨髄液)、 生体検査(エックス線撮影、超音波、CT、MRI、心電図、内視鏡、核医学) 経皮的動脈血酸素飽和度(SpO ₂)の測定、血糖測定、モニタリング機器の取り扱い 創傷の治癒過程、創傷のアセスメント、洗浄、保護、包帯法、褥瘡の予防と治癒の促進				
授業の進め方	講義・技術演習を組み合わせで行う。				
履修のポイント・留意事項	形態と機能、疾病論、機能回復論(薬物療法)の学習内容を復習し授業に臨む。 採血法の技術は、模型や注射シミュレーターを使用して、安全で正確な技術を習得する。				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院 新体系看護学全書 基礎看護学4 臨床看護総論 メヂカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 メヂカルフレンド社				
評価方法・配点	演習への取り組み、課題レポート、科目終了筆記試験を総合的に評価する。				